

公共施設の再編に関する意見交換会 概 要 報 告

日 時 令和元年6月1日(土)13時30分～15時05分
場 所 湯沢雄勝広域交流センター 第1研修室
対 象 地 区 湯沢地域(湯沢南中学校区)

参 加 者 22 人

内 訳	計			20代			30代			40代			50代			60代			70代			80代		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
湯沢地区	20	18	2	0			0			0			3	3		7	7		9	7	2	1	1	
弁天地区	1	1	0	0			0			1	1		0			0			0			0		
そ の 他	1	0	1	0			0			0			1		1	0			0			0		
計	22	19	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	4	3	1	7	7	0	9	7	2	1	1	0

市 出 席 者 湯沢市公共施設アドバイザー、
総務部長、企画課長、企画政策班長、担当、協働事業推進課協働のまちづくり班長

概 要

開 会

あいさつ

総務部長



説 明

- (企画課)
① 公共施設を取り巻く課題
② 湯沢市公共施設再編計画中間案の概要



概 要

情 報 提 供

他自治体の取り組みと湯沢市の取り組み（湯沢市公共施設アドバイザー 川嶋幸夫氏）



質疑応答、 意見交換



○人件費が多くかかっているとのことだが、安い賃金でも良いので、働きたいと思っている高齢者が多くいるのではないか。

⇒（アドバイザー）公共施設の運営は、今まで行政が主体的に行っていたが、これからは、地域の皆さんの地域力、市民力、民間の活力を使って公共施設を運営して行くということが大きな課題だと思う。例えば、地区センターを地域の皆さんが運営していくという提案をいただければ、行政としては、いろいろな条件を整理して、やってもらいたいことをオーダーしてお願いしていくことも可能である。これからひとつずつ整備をして、出来るだけ地域の皆さん、民間の事業者の皆さんに公共施設の管理をお願いしていければと思っている。

○出て行くお金が多くて、入ってくるお金が少ないと思う。病院から市役所、消防署など点在した中で、どうやって一体化して湯沢のまちを活性化するか。

⇒（市）行政機能など施設が点在していることについて、これからは、再編計画で述べている基本的な考え方や、官民力を合わせ、まちづくり、地域づくりをどのようにしたら良いか検討し、地道な展開をしていくことが必要と考えている。これからも市民の皆さんから御意見をいただきながら、将来に向かって発展できるよう取り組んでいく。

○新たな施設が必要なときは、ある程度耐久性があるけれども利用していない、例えば学校などは、児童生徒の減少により空き教室が出てきているはずなので、そういった場所を活用して、なるべくお金をかけないようにすることが必要だと思う。また、公共施設の問題だけでなく、地域全体をもう少し活性化することなど、トータルで考えていくことが重要なのではないか。

⇒(アドバイザー)地域の活性化は非常に大きな課題で、その活性化のために公共施設をどう使いきるかということが重要なポイントになる。市にはたくさんの公共施設があるが、使い切れてないので、450施設もいらないのではないかという議論になってしまう。もっと利用すれば、公共施設も有意義になり、公共施設に多くの方が集まると地域がそれだけ豊かになって、活発化されるという相乗効果もある。ただ、老朽化している公共施設もあるが、財政状況から新たなお金をかけることが難しい状況である。学校が使用しない時間帯の地域開放についての検討も必要である。また、統廃合した学校施設周辺にある公共施設を出来るだけその中に入れるような工夫もしていく必要がある。それだけでは埋まりきらないので、市民の皆さんからもその施設の使い方など、提案していただきたい。民間の利用や、施設を半分だけ使うなど、様々な検討が今後必要になる。

○硬式野球ができる野球場が一つも無い。野球連盟とともに働きかけて、野球場を作ってほしいとお願いしているが、市の現状を聞くと、新しく建設することは難しいと思った。市にある球場は軟式野球しか出来ないの、高校の全校応援の際は、経費をかけてバスで横手市の球場に行っている。市の現状も理解できるので、どうすればいいのかと悩んでいる。

⇒(市)野球関係者の方々から陳情等いただいているが、整備には多額の投資が必要であり、厳しい状況である。現在、野球場(稲川・雄勝)、陸上競技場、文化会館など収容人数が多い、大規模な投資が必要となるスポーツ施設、文化施設については、市町村間の連携で、広域利用、相互利用が出来ないか検討している。実際にスキー場について東成瀬村と相互利用を始めている。新規に整備する予定はないが、市としては、現在ある稲川、雄勝の球場をきちんとメンテナンスし、使える状態にすることや、既存施設以上の規模のもの、収容のものは、同じような負担、あるいは同じ様な条件で利用できるよう広域利用に取り組んでいく。

○市の概要を市民に説明するとともに、例えば学校が廃校となる地域では、地域利用していくなど、再編のモデルとして前向きに進める地域を作ってはどうか。

⇒(アドバイザー)エリア別の再編については、今年度の後半にかけてやっていきたいと思っている。建替が必要になった施設がある場合、周辺にある公共施設を出来るだけその中に入れることによって、古い施設を廃止し、トータルで減量出来るようなモデルをいくつか作れば良いと思っている。

○これからは高齢化が顕著であり、地域に集合拠点のような複合施設をつくっても、10年後20年後に、そこに行って利用することが出来るかが課題になる。施設の複合化と同時に、交通インフラを整備して地域の住民が皆参加できるよう考慮してほしい。

⇒(市)施設を集約することは、住民の方々からすれば施設まで通う距離が遠くなるということであり、施設を集約に当たっては公共交通もセットで考える必要がある。現在市では、羽後交通の赤字補填と市が委託している乗り合いタクシーの運行に、約一億一千万の税金を投入している。しかし、利用率が上がらず、現在、各種対策を検討中である。市民の皆さんと課題を共有しながら考えていきたい。

⇒(アドバイザー)公共交通の課題はどの自治体でも出る課題である。行政の役割は基盤を整備することであり、市民の皆さんの役割は一週間に一回でも利用して、多少なりともその経費の負担をまかなっていただくことである。そうすれば、市側でも有効に使い、市民の皆さんも安全な移動が確保できるので、公共交通の問題を考えると両方の視点からお願いしたいと思う。

○文化会館の運営委員会に参加しているが、湯沢文化会館のような施設は、湯沢市では二度と建てられないので、丁寧に使っていきたいという話を毎回していた。この意見交換会に集まる人も高齢者が多いが、自治組織でも若い人の参加が見込めない。将来のことなので、若い世代に交代していきたいと思うが、高齢化や人口減少の問題もあり難しい。新しく建設しなければならないものもあると思うが、本当に必要なものは残し、利用が少ないものは廃止しても仕方がないと思う。無ければ無いで、その時々の人たちが様々な手段を考えるとと思う。

⇒(アドバイザー)市の施設には、これから残していかなければいけない施設はいくつかあると思う。また、地域で必ず一つは必要な施設もあると思う。それをどれにするか、どうやって使っていくか、地域の皆さんがどうやって管理していくかを検討し、一定の方向を出していければ良いと思う。また、若い世代の方にも議論に入っていて、それを引き継いでいけるような人材育成も行政の大きな役割である。

○湯沢図書館はかなり老朽化が進んでいるが、今ある湯沢生涯学習センターに移転できないか。駐車場もあり、下は展示会場などになると思う。

⇒(市)湯沢生涯学習センターは、湯沢図書館以上に古い建築年で、すでに老朽化が問題になっている。耐震性もなく、土石流・急傾斜警戒区域に含まれているため、移転は難しい。現在、図書館と生涯学習センターの将来を見据えた移転整備が課題になっており、検討を進めている。

○消防署移転後の跡地の再編はどう考えているか。

⇒(市)今年度、旧雄勝中央病院跡地に広域の新消防庁舎が完成する。現在の消防庁舎は耐震性に課題があるため、他用途に用途変更することは難しい。今後、駅前区域一帯を中心市街地のまちづくりのため、どう施設整備、街区整備したらよいか、検討しているところである。

○高齢化により、市外からの来客を自宅で迎え入れることが難しくなってきた。市内のホテルは満室が多いようなので、安価に泊まれるゲストハウスがあれば良いと思う。観光客も少しは増えているのではないか。

⇒(市)観光客は、爆発的に増えているという訳ではないが、ジオパークの展開などで少しずつ伸びている。インバウンドによる外国人の来湯は多くなっている。ホテル等営業ベースで成り立っている分野について、行政が税金を投資していくことは考えていない。

⇒(アドバイザー)全国的には、駅前の施設整備において、行政で使用しないスペースの利用を、民間から提案していただき官民が連携して建設し、高度利用を図るというのが一般的である。市では、湯沢生涯学習センター、湯沢図書館、湯沢勤労青少年ホームについて、移転する方針である。民間が利用するスペースには何を入れたら良いか、公共部分の管理運営方法も含め検討していくこととなるのではないか。公共施設の問題だけでなく、地域全体の活性化、まちづくりの視点で考えていく必要がある。

○若い人たちがなぜ出て行くかという、職場が無いからではなく、ここが楽しくないから出て行くのだと思う。これまで施設には十分お金をかけてきたはず。利用が少ない施設は廃止しても仕方がない。これからは活性化のために人口増加させる取組が必要である。

⇒(市)高校を卒業したあとは、ほとんど上の学校を目指し出て行ってしまいが、そういう方々に戻ってきてもらえるような環境整備や、戻って来ても自分の人生設計がきちんと出来るという意識を持ってもらえることが重要だと考える。ふるさと教育や企業紹介、家庭・地域における意識付けなど、地道に粘り強く取り組んでいく必要がある。

○総論賛成、各論反対になると思う。誰もが、少子高齢化、財政難というのは理解できるし、公共施設を減らす必要があることも誰もが分かっていると思う。しかし、自分の近くにある施設が無くなると困るという人がほとんどではないか。せつかく総論を理解出来たのだから、必要な機能については、集約することに納得してもらわなければいけないと思う。そうしないと結局いつまでもこの問題は解決できないので、市民同士お互いにじっくり理解しあわなければいけない。今までは目先のことばかり考えてきたが、それを反省し、10年後、20年後、30年後はどうなるのかを、もう少し突っ込んで予測を立てながら、皆で考えていきたいと思う。

閉 会

15時05分終了